

- 会社名 株式会社キャスト
- 設立 2014年9月
- 代表者 中川 祥太
- 資本金 4,990万円
- 従業員数 838名

※1 上記は2023年5月末時点の情報です。
※2 従業員数には臨時従業員も含んでいます。

リモートワークを当たり前にする

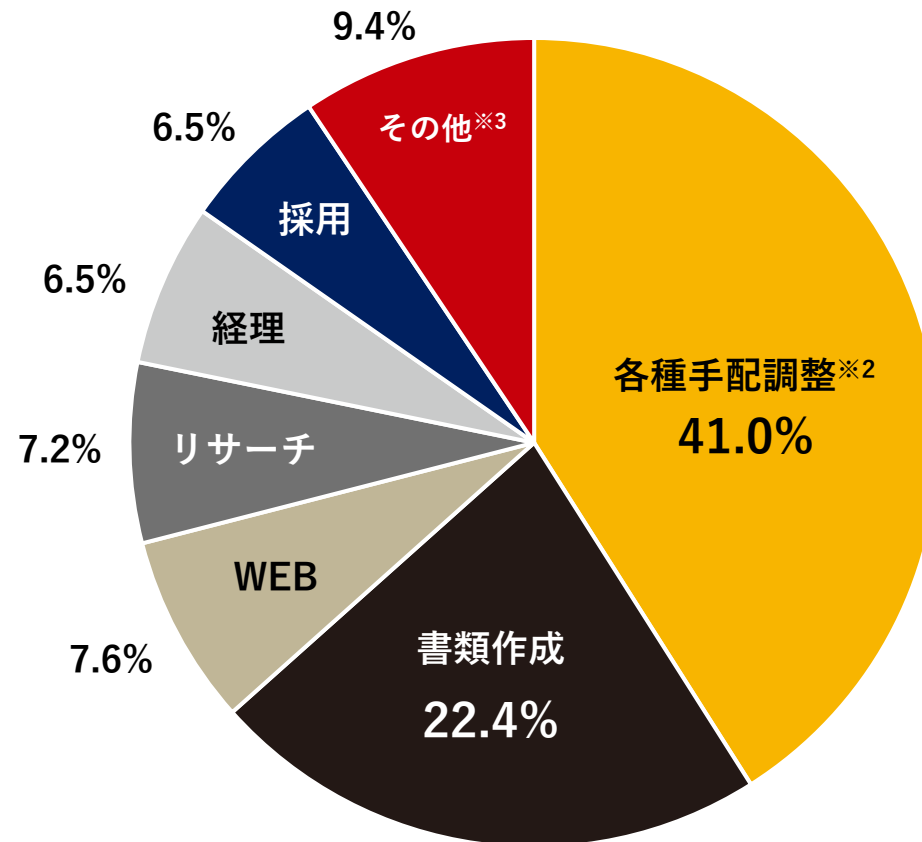
→ カスタマーを表す5つのキーワード

- 800名以上のほぼ全ての従業員※¹がフルリモートワーク
- 約2,000名/月以上の応募者が寄せられる採用力
- 分単位の業務タスクのアウトソースを可能にした「WaaS」
※ WaaS = Workforce as a Service の略称
- 10以上の業務領域でサービス展開
- クライアントの8割以上が300人以下の中小企業

リモートワークの特徴を 最大限活かしたWaaS事業を展開。

→ CASTER BIZ アシスタントの受注タスク構成

クライアントの多種多様な要望に対応している



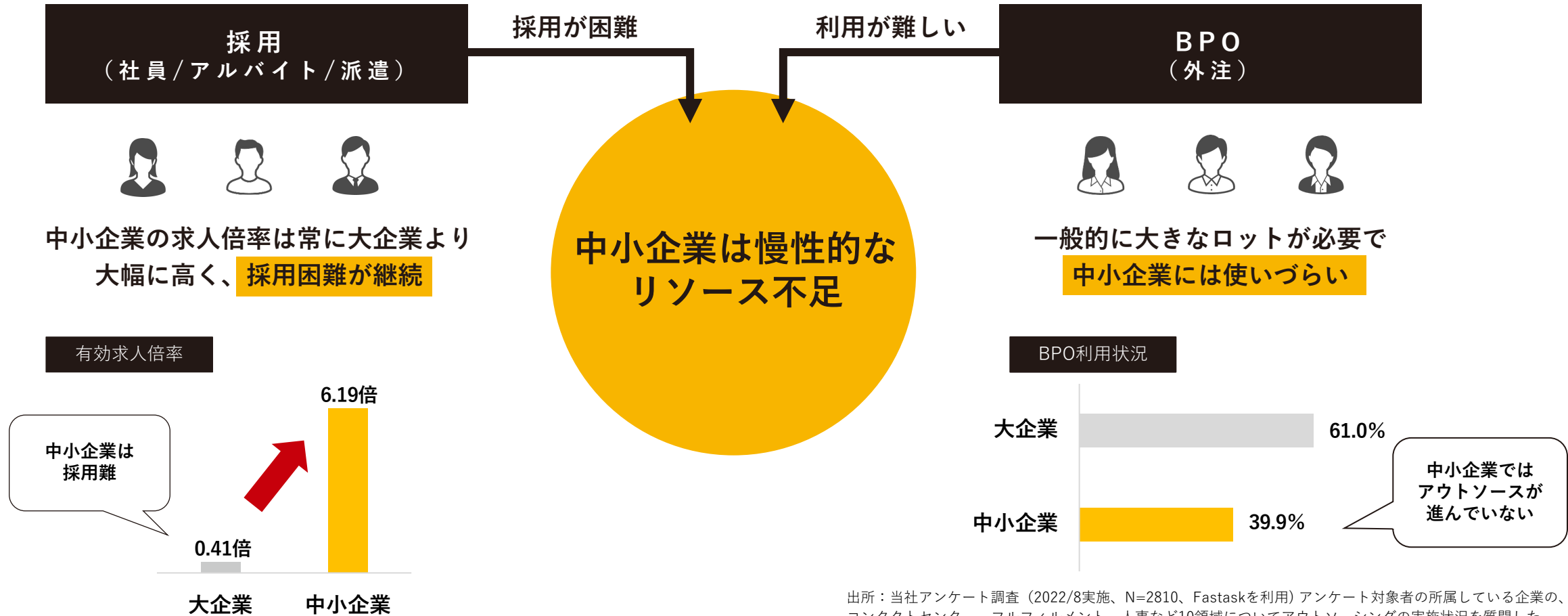
※1 上記構成は2022/8期におけるCASTER BIZ アシスタントの依頼タスク構成比（一部重複カウント含む）

※2 各種手配調整の内訳は、会議・接待など各種の日程調整、店舗検索予約、出張などの航空券・ホテル検索、備品購入等の手配等となります。

※3 その他は、総務（オンライン・オフライン含む）、人事労務、クリエイティブ、翻訳、データ作成などの業務が含まれます。

→ 市場性

中小企業は慢性的な人手不足だが、BPOなどの人材サービスを活用できていない



出所：第40回ワークス大卒求人倍率調査（大企業は5,000人以上、中小企業は300人未満）

出所：当社アンケート調査（2022/8実施、N=2810、Fastaskを利用）アンケート対象者の所属している企業の、コンタクトセンター、フルフィルメント、人事など10領域についてアウトソーシングの実施状況を質問した。従業員数300名以下を中小企業と定義。

→ 市場性

このような環境下、中小企業のWaaSへのアウトソーシングニーズは最大2.7兆円と試算



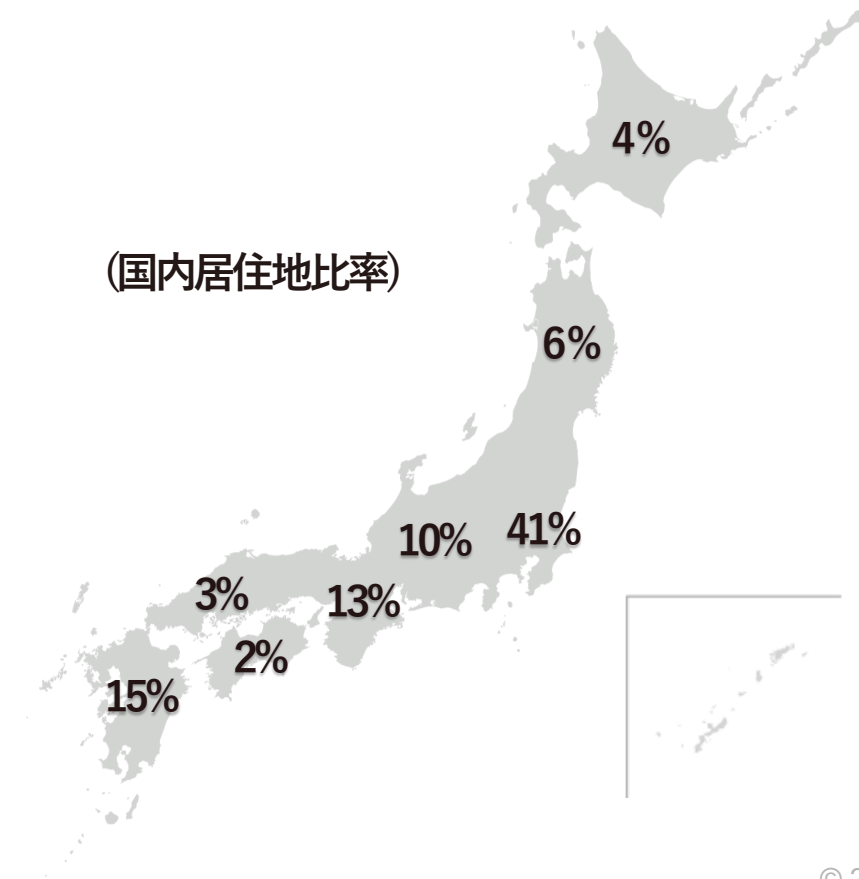
※ TAMは「中小企業白書2022年度版」の中規模以下の社数約357.8万社に中小企業BPOニーズのギャップ21.1%（当社アンケート調査結果）を乗じて算出される75.5万社に、当社ARPUの30万円/月を乗じて算出。SAMは、TAMに、「矢野経済研究所BPO市場の実態と展望2022-2023」（以下、矢野経調べ）における2026年度市場規模予測のBPO全体の市場規模における非IT系BPO市場の構成比(39.6%)を乗じて算出。SOMは、TAMに、矢野経調べにおける2026年度サービス領域別市場規模予測より、当社対応サービス領域（コンタクトセンター、ヘルプデスク、人事、経理、営業、コア部門単純業務）を抽出し、BPO全体の市場規模における構成比(29.6%)を乗じて算出。コアターゲットは中小企業のうち当社の売上構成比の大きい情報通信業（IT業）42,454社、学術研究、専門・技術サービス業（士業）181,763社の和（357.8万社中6.3%）に、中小企業BPOニーズのギャップ21.1%を乗じて算出される4.7万社に、当社ARPUの30万円/月を乗じて算出。

➔ WaaSの最大の差別化要因はフルリモートワーク

フルリモートワークによる4つの差別化要因

約800名※のリモートワーカー

- A** 採用力
- B** 適時・適切なメンバーの登用
- C** 独自のインフラ・運用を構築
- D** 小ロットサービスの実現



※2023年5月末時点の当社従業員(正社員・契約社員・派遣社員)を合計したもの

→ 従業員の各種構成比率

私たちが求めるのは、真剣にキャリアを考え、高いレベルで仕事に取り組む人たちです。

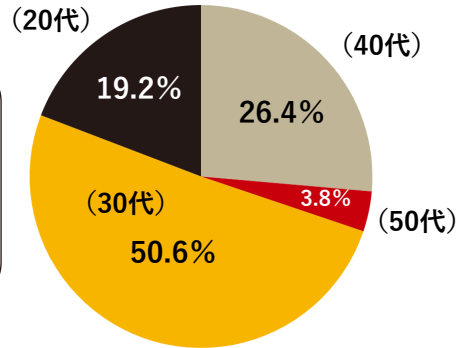
主婦やフリーランス、ギグワーカーなど、一般的にリモートワーカーとして想像される層に限定されることはありません。

【年代】

【国内統計】

就業者の割合※1

- 25-34歳 20%
- 35-44歳 23%
- 45-54歳 27%

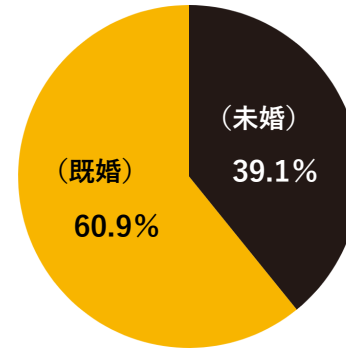


【配偶者の有無】

【国内統計】

就業者のうち未婚割合※2

- 34%

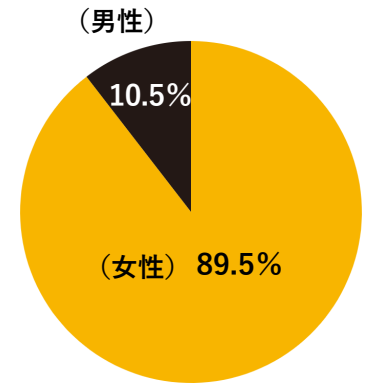


【性別】

【国内統計】

就業者の男女比率※3

- 男性53%
- 女性47%

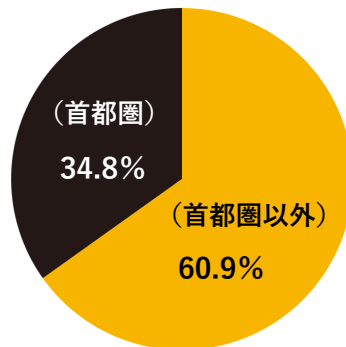


【居住地】

【国内統計】

就業者のうち
首都圏に所在する割合※4

- 37%

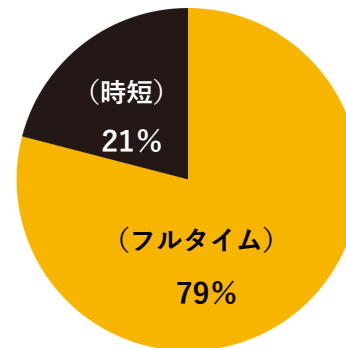


【勤務時間】

【国内統計】

就業者のうちパートタイム労働者の割合※5

- 31.17%



※1 出所：総務省統計局 労働力調査（基本集計）

2022年（令和4年）平均結果の要約、概要、統計表等

※2 出所：労働力調査基本集計全都道府県全国月次

※3 出所：総務省統計局 労働力調査（基本集計）2023年（令和5年）2月分

※4 出所：総務省統計局 <参考>労働力調査（基本集計）都道府県別結果

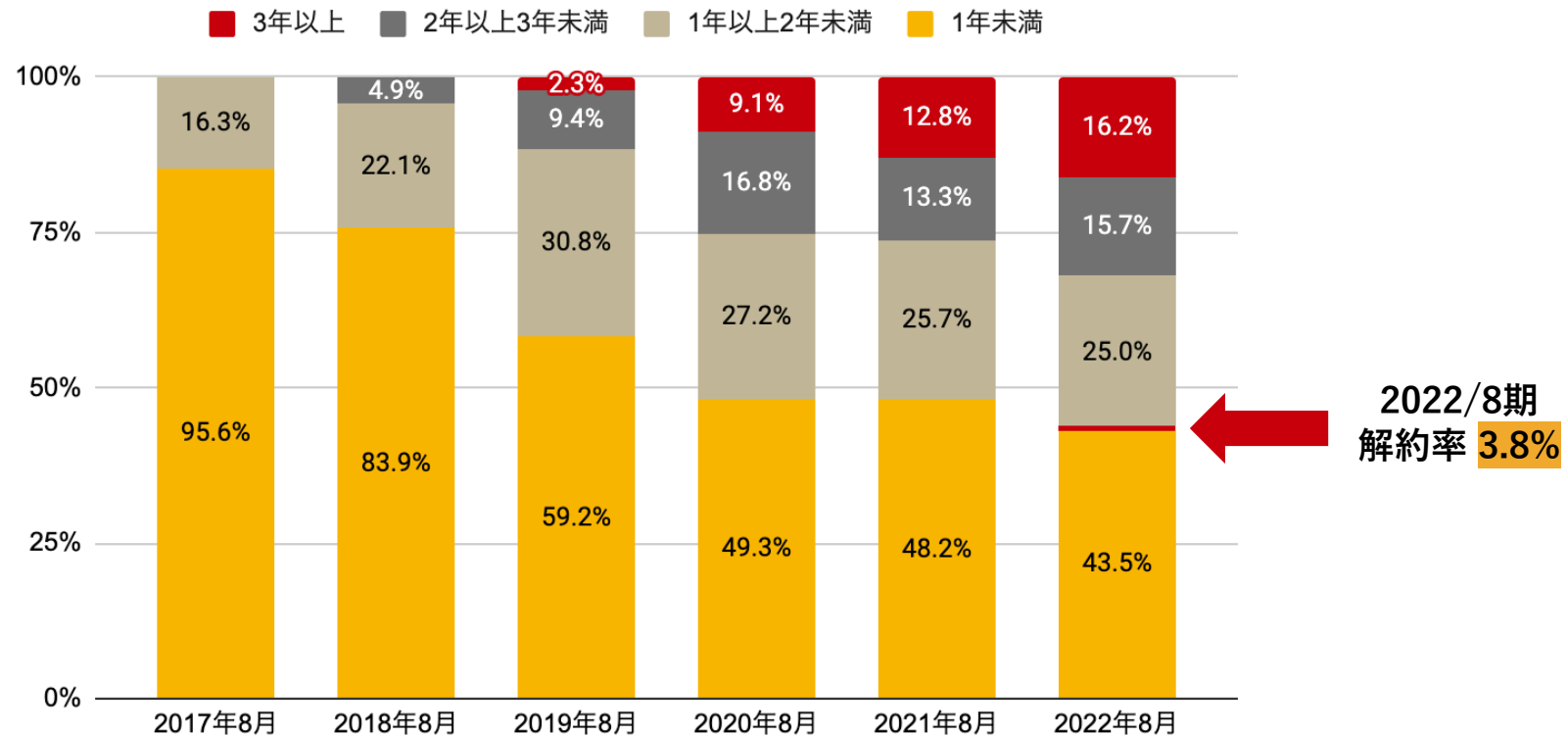
※5 出所：厚生労働省 毎月勤労統計調査 令和4年2月分結果速報等

※6 いずれも2022年12月31日時点の社内情報にて集計

➔ KPI

契約継続期間の長いクライアント比率は増える傾向にあり、解約率は改善が見込まれる

■ 年度末時点の契約継続期間別クライアント構成比



※ 契約が3ヶ月以内に終了する顧客及びReworkerのみ利用している顧客を除き集計を実施



Mさん

キャスター歴7年

アスリートも、

ビジネスも。

どちらも全力でやりたい。

CMOとして、キャスターを牽引する執行役員

一方で「CAMERON ULTRA-TRAIL100km (2019)」での優勝をはじめ、トレイルランニングで国内外多数の大会で上位成績を納める。

練習環境を整えるため、世田谷区から高尾に引っ越し。国内外の大会で順調に好成績を出している。

さらに長野やタイなどに短期移住もしており、場所に縛られない生活を実践している。

引き続き「リモートワークを当たり前」すべく、会社の成長を引っ張っていき、働く場所が自由になるだけで、人生において多くの選択肢が作られ、日々が豊かになることを体現していきたい。





Kさん

キャスター歴7年

配偶者のUターン

大好きな秘書キャリアは
地方でもしっかり続ける。

アシスタントを経て、CASTER BIZ事業部でサブマネージャーを担当。

配偶者の「Uターン転職」という要望に合わせて、地方へ引っ越す。

それまで秘書としてキャリアを積んできたこともあり、この好きな仕事を続けたいと考えていた。しかし希望に合う求人が地方にはなく、困惑していたところで、キャスターに出会う。

在宅で仕事ができることは、家族との生活をスムーズに両立できるだけでなく、苦手な車の運転をして通勤しなくてよい点も気に入っている。

また日本全国はおろか、世界中に同僚がいることでさまざまな地域の様子を聞けたり、仕事においても、視野の広がりを感じられている。





Kさん

キャスター歴2年

病気をきっかけに

見直した、働き方。

仕事も生活も自然体に。

営業部で複数サービスのセールスオペレーションを担当。

バセドウ病を患ったことがきっかけで、出張の多かった働き方を見直すことを決断。

田舎暮らしをしながら、全国レベルの水準で人材が集まる環境で働くことに魅力を感じ、キャスターに入社。

以前は仕事とプライベートを明確に分けており、仕事仲間に対して壁をつくるタイプだったが、現在は会ったことがない同僚にも対しても、自分を知ってもらいたいと思えるようになった。自分から素直にキャラクターを出すことで、**自然体で話ができる**ようになり、**人間関係もよりスムーズになった**と感じている。

フレックスタイムを利用して通院ができ、**身体のメンテナンスがしやすくなった**、**通勤がなくなった**ことで**子供のお迎えに行ける**ようになったなど、生活面でも快適さが増した。



A woman with short black hair, wearing a red cardigan over a white t-shirt with a colorful graphic and a blue skirt, stands smiling next to a large tree. A young girl in a pink jacket is leaning against the tree trunk, looking towards the woman.

Kさん

キャスター歴8年

子育ても、仕事も

自分らしいバランスで。

時差も活かせる海外生活。

海外事業のアシスタント、翻訳業務のチームリーダーとして活躍。

海外で日本人の少ないエリアに住むことに。知り合いもほぼいない中で子育てをしながら、外の世界とつながりたくてキャスターで働き始めた。

現地時間の夜、子育てを夫にバトンタッチして仕事に集中する。

日本時間に合わせた働き方が、現地での生活にうまくフィットした。

しっかりと収入を得ながら子供たちの行事に積極的に参加できるようになり、場所にとらわれないことで日本への帰国や旅行もしやすい。

大切にしたいものを両立できる、フレキシブルな環境をリモートワークで実現できた。



Caster

ありがとうございました